

平成 23 年 8 月 9 日
8 月の内外鉄スクラップ・マーケット
<b>海外</b> <p>①今年6月世界粗鋼生産は1億 2774.6 万トン。前月比 1.6 減、前年同月比 8.0%増。6月累計は 7 億 5777.1 万トン。前年同期比 7.3%増。中国の生産は当月も月度 6,000 万トン超。累計は3億 5054.3 万トンで年 7 億トンペース、前年同期比 9.6%増。世界シェアは 46.3%。トルコの累計生産は 1640.6 万トンで同 比 21.3%増。韓国 3386.6 万トンで 18.5%増。米国は 4089.8 万トンで同 比 4.3%増。</p> <p>②欧州はギリシャへの追加支援が決定（7 月 22 日）したが、格付け会社は同国を債務不履行（デフォルト）と認定と示唆。米国では連邦債務の上限引き上げ問題（タイムリミットは 8 月 2 日）からデフォルトの危機に直面し、住宅は「二番底」不安が指摘されている。</p> <p>③中近東では 1 月からの勃発した民衆蜂起（ジャスミン革命）はまだ終息していない。トルコ向けの HMS・CFR470 ドル前後で小浮動しているが、関係者はラマダン（断食月＝今年は 8 月 1～29 日）明けの動きが注目している（半年近くも鉄スクラップの買いを抑制しているため、手持ち在庫は薄いとの見測がある）。</p>
<b>国内</b> <p>①政府は電力使用制限令に基づき 7 月 1 日から東京電力、東北電力管内の 500KW 以上の大口使用企業に 15%の節電、関西電力管内でも 25 日から 10%の自主節電を要請した。</p> <p>②円相場は、欧米の財政不安から資金逃避先として買われる不本意な円高（7 月末 77 円台へ）となった。</p> <p>③割高となる夏期電力料金対策として、西日本では 7 月下旬から電炉各社順次、1 週間から 10 日の炉休に入った（関東では 8 月に炉休が集中）。</p> <p>④電力規制などから相本の最終需要の動きは鈍い。また海外経済の先行きも不透明で、韓国筋の日本玉の買い指し値は H2・FOB35,000 円前後、7 月初めに比べ約 1,000 円後退している。ただ扱い筋は、下期以降の回復期待。先行きに関しては弱気ではない。</p>
【日刊市況通信 平成 23 年 8 月 2 日掲載】